



◀ そのほかの取材記事はこちらから ▶

馬場利男 赤こんリポーター



自然と文化の象徴「西の湖・三ぼうヨシ交流会」

安土町下豊浦にある西の湖すてーしょんで、3月15日に交流会が行われ、42人が参加しました。

交流会では、環境カウンセラーの河合嗣生^{つぐお}さんを講師に迎え、講演「私の推し～西の湖ヨシ原湿地と未来の環境～」で、西の湖の風景や環境とともに息づく歴史、野生動物の保護の重要性などが語られ、参加者は耳を澄まして話を聞いていました。講演後のグループワークでは、参加者が30年後の西の湖のあり方について意見を出し合い、「水質浄化」「西の湖の魅力を世界へ発信」「ヨシを活用したライフスタイルの提案」など、大胆なチャレンジ案を発表していました。

松村美沙枝 赤こんリポーター

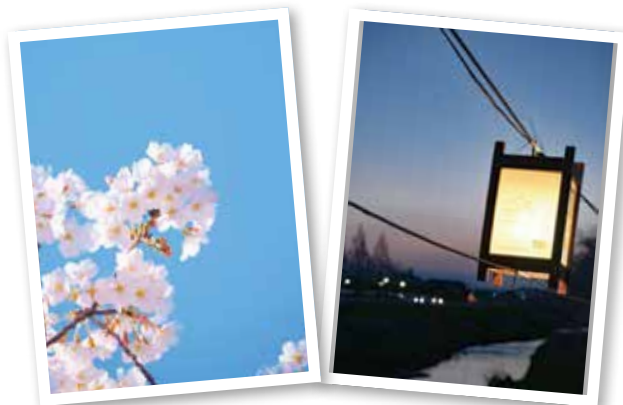


近江八幡の新しい魅力のカタチ

3月22日、御狹野^{みかりのもり}乃杜牧場で「ハチマン×コスプレ」が開催され、全国から多数の参加者が訪れました。このイベントは、賀茂神社の演武でも活躍している日本の在来馬に乗りながら、自分の好きなキャラクターになりきり撮影ができるというもの。神事にも登場する毛並みの美しい馬に、コスプレイヤー達も大興奮。サポーター引率の元、広場や竹林での撮影を満喫していました。御狹野乃杜牧場では、普段も乗馬や流鏑馬^{やぶさめ}の体験をされていますが、観に行くだけでも迫力がありそうですね。



東知樹 赤こんリポーター



心もあたたまる春の気候

すっかり春の季節となり、暖かくなってきた4月7日、白鳥川沿いの桜がだんだんと咲き始めていました。この日は快晴で、桜の花の色に空の青さがとてもマッチしていました。夜になると、飾られているぼんぼりが灯りはじめ、昼間とはまた違う、柔らかい光に照らされたあたたかい桜を見ることができました。ぼんぼりにはさまざまな願いが込められていて、心もあたたかい気持ちになりました。ぼんぼりは来年も飾られる予定です。皆さんもぜひ、訪れて心をあたためてみてはいかがでしょうか。

山田恵美 赤こんリポーター

こども用品のおゆずり会
「ほんわかリユースフェスティバル」

3月17日、はちはびひろば^{ひそ}前のスペースにて、市内で活動をしている美創屋 ONRI、HugBaby、まるえこ、ホームスタートほんわかなどの団体が参加し「ほんわかリユースフェスティバル」が開催されました。赤ちゃんの成長は早いもの。まだまだ使えて「誰かに使ってもらいたいな」という赤ちゃん、子ども用のお洋服やベビーバス、ベビーチェア、ベビーシートなどを、今必要としている子育て世代につなぐ、譲るひと譲られるひと嬉しい試みだと思いました。子育てはみんなですると、もっと楽しくなる。子育てを応援してくれる場所が市内にはたくさんあるので、困ったときはぜひ相談してみてください。



市内のイベント情報ははこちらから ▶

4月1日

「カローラ滋賀はちまんスタジアム」で
年度始め式を開催

4月にオープンした「カローラ滋賀はちまんスタジアム（市立運動公園野球場）」で、市役所職員の年度始め式が行われました。式典では、新規採用職員などが野球のメンバー発表のように紹介されると、急いでベンチから飛び出す場面も。また全面 LED のスコアボードを活用し、宣誓を行う職員をリアルタイムで映すなど、野球場ならではの式典となりました。

3月22日・23日には、同スタジアム改修を記念した「BASEBALL MEETING in 近江八幡」も行われ、八幡商業高校と京都国際高校^{ちべん}（京都市東山区）、近江兄弟社高校と智辯学園高校（奈良県五條市）、また同志社大学と早稲田大学の熱戦が繰り広げられ、迫力あるプレーに駆け付けた観客は大いに盛り上がっていました。



4月5日



篠原公園の大型複合遊具がリニューアル！

都市公園長寿化計画に基づき、老朽化した篠原公園の遊具を3月末にリニューアルしました。ふるさと納税寄附金を活用して、大型複合遊具、幼児も利用できるブランコ、健康遊具が新たに設置され、子どもから大人まで利用できる公園となっています（☎29960）。大きくて遊びがいのある遊具に、子どもたちは大はしゃぎ。設置して初めての週末は、楽しそうな笑い声が園内に響いていました。

4月3日

おしま通船「船長」目指して
地域おこし協力隊2人が着任

大阪府出身の平尾友里さんと、彦根市出身の杉浦健介さんが、沖島振興の地域おこし協力隊として、4月1日付で着任しました。2人は主に、船長候補者の確保や移住促進にかかる情報発信、通船事業の運航・運営などを行います。平尾さんは、「通船は観光や生活の中でなくてはならないので、みんなが利用しやすいように改善していきたい」と、杉浦さんは「まずは、沖島の人に私たちのことを知ってもらい、頼りになる存在になりたい」と話していました。

4月14日

炎と音の饗宴^{きょうえん}
「八幡まつり」

千有余年の伝統を誇る「八幡まつり」は、五穀豊穡や家内安全、水利などを願って、毎年4月14日・15日・16日に旧村落12郷の氏子によって執り行われています。

14日の宵宮は「松明まつり」と呼ばれており、郷ごとの松明が順に奉火される壮大な火祭りです。松明はヨシと菜種がらを材料に作られ、中には10メートルを超えるものも。火を付けながら手で振りかざす「振り松明」、引きずりながら持ち込む「引きずり松明」、他にも「とっくり松明」「船松明」と呼ばれるものもあり、当日は多種多様な松明が楽しめました。15日は「太鼓まつり」、16日は「すでら渡り」が執り行われ、松明の炎と太鼓の響きが饗宴する八幡まつりが、今年も無事に終わりました。